

始まりました！ 盲ろう者通訳・介助員養成講座

6月30日(木)、令和4年度盲ろう者通訳・介助員養成講座が開講しました。15名の受講生が23講座45時間をかけて盲ろう者への理解を深め、通訳・介助実習を行います。

開講式後の第1講座「盲ろう者概論」では、講師の



みやぎ盲ろう児・者友の会会長の小山賢一氏より、盲ろう者のコミュニケーション方法や困りごと等の基礎知識が伝えられ、最後は受講生に向けて「自分の出来ることから力をつけていってほしい」とエールが送られました。

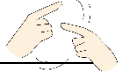


第2講座は「盲ろう疑似体験」を行い、受講生はペアで盲ろう者役と介助員役を交互に体験しました。「視覚と聴覚の両方が遮られて、一步を踏み出すのが怖かった。普段は気に留めない点字ブロックがとてもありがたく感じた」「介助員役を経験してみて、相手に伝えたい状況があるのに手立てがわからなかった。怪我をさせてしまわないか心配だった」など、それぞれの感想を共有しました。

受講生のみなさん、安心・安全な通訳・介助を目指して頑張ってください！



手話通訳者養成講座開講



令和4年度手話通訳者養成講座が開講しました。多様化する手話通訳のニーズに応えられるよう、81講座126時間をかけて、通訳に必要な技術と知識を学びます。



大崎、角田みみサポサロン 開催しました

7月11日(月)、大崎市みみサポサロンを実施しました。NPO法人防災士会みやぎから講師をお迎えし、災害から身を守るために覚えておきたい情報を丁寧にお話しいただきました。もしも今、避難所で過ごすことになれば、感染症にも気を付けなくてはなりません。感染しない、拡大させないための衛生管理は防災においても大切なことがわかりました。



7月20日(水)の角田サロンは、仙南消防本部指令課をお迎えし、NET119の通報練習や利用登録、角田消防署救命士による心肺蘇生法の実演を行いました。NET119の利用登録をしているけれど使い方が不安という方は、練習モードで操作に慣れておきましょう。NET119だけでなく、指差しボードやFAX119など、いざというときの手段を複数確認しておくとお安心ですね。

